

## 平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 補足資料

当第 3 四半期会計期間において連結子会社を吸収合併したことにより連結対象会社が無くなりました。このため、当第 3 四半期累計期間は四半期財務諸表（非連結）を作成し、前第 3 四半期累計期間との比較は行なっておりません。参考情報として、前第 3 四半期累計期間損益計算書（個別）との比較ハイライトを下記に、ご案内します。

【平成 22 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）】

（金額単位：百万円、百万円未満切捨て）

	平成 22 年 3 月期 第 3 四半期	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期	増減額	前年同期比 増減
営業収益	79,003	73,849	5,154	7.0%
売上高	75,759	70,560	5,199	7.4%
不動産賃貸収入	3,244	3,289	△ 45	△ 1.4%
販売費及び一般管理費	17,376	17,420	△ 44	△ 0.3%
営業利益	919	649	270	41.6%
経常利益	1,088	756	332	43.9%
四半期純利益	760	△ 365	-	-

### 1. 営業収益（2期ぶり増収、第3四半期累計期間過去最高）

(1) 食品売上高 前年同期比 28 億 10 百万円 (21.8%) 増加

酒類の売上高が前年同期比 10 億 6 百万円 (55.6%)、パンなど日配食品の売上高が前年同期比 4 億 24 百万円 (341.2%) 増加した他、菓子、米、調味料、麺類・カレーなどの加工食品、飲料など食品の販売が好調で、客数と売上高の増加に大きく貢献しました。

(2) HBC（ヘルス・アンド・ビューティー・ケア）売上高 前年同期比 15 億 11 百万円 (12.4%) 増加

インフルエンザ対策用マスクの売上高が前年同期比 2 億 70 百万円 (887.6%) 増加した他、取扱店舗を拡大した医薬品や衣料用洗剤・柔軟剤、化粧品などの販売が好調でした。

(3) プライベートブランドの液晶テレビ売上高 前年同期比 6 億 80 百万円 (413.8%) 増加

9 月 17 日から「エコポイント対象 19 インチ地デジ液晶テレビ」を税込 29,780 円で発売したことなどにより、プライベートブランド以外の商品を含めた液晶テレビの売上高は前年同期比 9 億 3 百万円 (64.1%) 増加しました。

### 2. 経費（販売費及び一般管理費）（44 百万円の削減）

(1) 主な減少要因 減価償却費が 2 億 6 百万円減少

(2) 主な増加要因 新店開店等により人件費が 1 億 8 2 百万円増加

### 3. 営業利益、経常利益、四半期純利益（2期ぶり増益、四半期純利益は黒字化）

前年同期の四半期純利益は、「棚卸資産の評価に関する会計基準」適用初年度にあたり、期首棚卸資産の変更差額 10 億 26 百万円を特別損失に計上したことにより、3 億 65 百万円の損失でしたが、当第 3 四半期における純利益は 7 億 60 百万円となりました。

以 上